

事務事業評価シート (評価対象年度：令和2年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	泉州南部初期急病センター運営費負担金				②事業番号	4208	
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	平成 25 年度	⑤終了予定年度	年度 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○要綱	計画等	その他	法令等の名称：泉州南部初期急病センター運営事業に関する覚書
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	2	細目 5
⑨担当部名	⑩担当課名						
健康子ども部	保健推進課						

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉州南部初期急病センター利用者	① 泉州南部初期急病センター利用者	人
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉佐野市、泉南市、阪南市、熊取町、田尻町、岬町の3市3町で協力し、初期救急体制の整備・運営を行う。	① 診療日数	日
	②	
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
日曜、休日、土曜日夜間、木曜夜間の診療体制を強化し、地域住民の急病、怪我に対する救急医療体制を確保する。	① 急病センター利用者数のうち泉南市民の割合	%
	計算式 全利用者数/泉南市の利用者数	
	②	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
休日・夜間の一般医療機関が診療できない時間帯の診療体制を強化することにより、救急医療体制の充実を図る。	政策(章)	2 みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	2 すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします
	施策中	1 医療環境の充実
	施策小	2 救急医療体制の充実

〔2〕各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H30実績	R1実績	R2見込	R3見込	R4目標	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標①	泉州南部初期急病センター利用者	人	7,442	7,617	1,931	-	-	
対象指標②	うち泉南市民の利用者数		1,192	1,121	331	-	-	
活動指標①	診療日数	日	170	176	170	-	-	R1-R2にかけての利用者数は新型コロナウイルス。
活動指標②								
活動指標③								
成果指標①	急病センター利用者数のうち泉南市民の割合	%	16	15	17	-	-	
成果指標②								
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		事業費などの推移における特殊要因などの説明
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	人件費(投入人員×単価)	千円	81	77	76	76		H30年度決算において収支不足による損益が出たため、R2年度負担金が発生した。
	直接事業費	千円	0	0	436	3		
	総事業費	千円	81	77	512	79		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
一般財源		千円	81	77	512	79		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	大阪府地域医療再生計画が策定され、初期から三次まで、救急患者に適切な医療を提供する地域の基幹的救急医療体制を形成する必要があったため。来所した軽症患者の中に混じる中等症以上の患者を即座に後送できる体制を整える必要があったため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	医師不足による医師の負担は泉州医療圏でも顕著であり、医師会協力のもと医師の確保に苦慮している。後送病院の不足があり、バックアップ体制を強化する必要がある。今後、医師会、医療機関との連携を強化していく必要がある。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[1]の評価	A
評価項目			評価及び理由・説明等					
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)			ア. 合っている アイ. ある程度 ウ. いない	休日や夜間の診療時間外に受診する患者の受入れ体制の整備は、必要不可欠であり、需要は高く社会環境に合っている。				

[2]有効性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[2]の評価	A
②期待どおりの成果が得られていますか。			ア. 得られている アイ. ある程度 ウ. いない	市民の急病等の対応が図られた。				
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)			アイ. ある イ. ない	現段階での具体的案はない。今後は関係市町と確認していきたい。				
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。			ア. 類似なし アイ. できる ウ. できない	—				

[3]効率性			A.高い	B.やや高い	C.やや低い	D.低い	[3]の評価	A
⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費＋人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)			アイ. ある イ. ない	限られた予算と人員で実施している。				

4. 総合評価

総合評価	評価(A～D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要 (事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要 (事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	A	質の高い持続可能な二次救急医療をさらに確立する。	

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞	
ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ (年まで) (年から) (年から)
	＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—